

「シリーズあれから1年」



木のすまい仕様の家

「自然素材に囲まれたバリアフリーの家」

りも早かったんです(笑)」と話されるご主人。

この度は1年点検を兼ねてお伺いし、改めてお住まいの感想をお聞きしました。奥様は「朝日を浴びながら台所に立ち、午後にはデッキを通して陽射しが部屋の奥まで入ってくる。冬は暖かいし、また結露もなく、前の家に比べれば本当に気持ちがいいんです。」と楽しそうに話され、「夏は庇が深く、直接、陽射しが入らない上に風通しがいいのでとても涼しいんですよ。また、平家建てなので2階への動線もなく、部屋もゆつたりとして使い勝手は本当にいいんです。」と満足そうにご主人が続ける。アプローチの植栽も、今は葉を落としていますが、夏は緑がいっぱい本当に気持ちがいいとのこと。本当に喜んでおられるお二人の笑顔を見ていると、こちらまでうれしく思うと同時に、楽しく家造りをさせて頂いたのが昨日のように感じられました。



お客様との出会いは、一昨年の春。築80年、平家建ての全面改修工事が完成した現場へご夫婦で来られたのがきっかけ。「このような平家建てのイメージが理想なんです。」と最初からご夫婦一致した意見をお持ちで、さっそくお話を伺い、プランニングを開始。

お二人の家造りコンセプトは、「夫婦だけの小さな住まい。」しかも自然素材に囲まれたバリアフリーの家。仕上げの材料も床はパーチフロアリング、壁は珪藻土塗り、天井は和紙クロスとヨシベニア張り、そして断熱材はセルロースファイバーとすべてが自然素材。プランの打合せもほとんどん拍子で進み、翌年の冬には完成。当時を振り返り「車を買う時よ

キズはその家の歴史。

新建材と比較して、無垢の木の家は一般的に手入れが大変だと思われています。しかし、日ごろのお手入れは雑巾で乾拭きする程度で新建材の床の手入れと変わりません。よく見るとシミも所々にありますが、木目と節にまぎれて目立ちにくいものです。無垢の木の家は時間が経つと共に日焼けして色が濃くなる(経年美)ために、キズやシミも隠れてきます。昔は子供の背丈を柱に刻み、成長の記録を付けたもので、大人になってみれば懐かしいものです。そういった意味でも、キズを「家族の歴史」と考えることもできるのではないのでしょうか。

また、大きなキズが付いたら、何か理由があるはずですが。いわば、キズはその家の歴史なのです。キズを見るたびにその時のことを思い出すのもいいのではないのでしょうか。

このように自然素材には欠点があるから駄目と思うか、自然素材の欠点をいいところ以上に認めて受け入れるかが、我々の課題です。おらかな気持ちで物から感じる感性を大切にされた価値観の方が、本当は大切なのではないのでしょうか。

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

【兵庫県林務課からのお知らせ】

「身近な国産材を使って家を建てたいのだけれど、どこに聞けば良いの?どんなメリットがあるの?」

そんなご相談にお応えするためのインターネット上での情報サイトをご紹介します。

■日本の木のいえ情報ナビ

<http://www.nihon-kinoie.jp/>

■兵庫県木材業協同組合連合会

<http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/>

インターネットでそれぞれ『日本の木のいえ』

『兵庫県木材業協同組合』で検索。

—ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内—

●「ひょうご木のすまい」産地見学ツアー

県産木材や木造住宅に興味のある皆様は、この機会にぜひご参加ください。生産地(伐採現場)から製材工場・モデルハウスまでの木材の流れをバスで訪ねます。

見学先: 伐採現場(宍粟市)・製材所(宍粟市)・モデルハウス(西宮市/宍粟市)



とき: ・H22年4月17日(土)
・08:00~18:30(予定)
費用: ・大人/1,000円
・中学生以下/無料
集合場所: ・隠西宮北口
またはJR姫路駅

※見学先は変更になる場合があります。詳しくはお問合せ下さい。



小冊子

「キノコイエコノト ひょうご2010」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。ひょうご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

※小冊子「キノコイエコノト」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。